【腸　FOLFIRI＋Cmab療法について】
（フルオロウラシル＋レボホリナート＋イリノテカン＋アービタックス）

様　　コース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
グラニセトロン注 デキサート注 ブスコパン注 ポララミン注	吐き気止めとアレルギー様症状を抑える薬です	30分	●														●														●
デキサート柱 ポララミン注	吐き気止めとアレルギー様症状を抑える薬です	30分								●														●							
アービタックス注(250mg/m2)	抗がん剤です	1時間	●							●							●							●							●
デカドロン錠	吐き気止めです	内服		●	●													●	●												
イリノテカン注(150mg/m2)	抗がん剤です	90分	●														●														●
レボホリナート注(200mg/m2)	5-FUの効果を強める薬です	2時間	●														●														●
フルオロウラシル注(400mg/m2)	抗がん剤です	約5分	●														●														●
フルオロウラシル注（持続）(2400mg/m2)	抗がん剤です	46時間	←●	→													←●	→													←

イリノテカンとレボホリナートは同時に投与します

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	アレルギー様症状	■							■							■							■							■
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																													
	食欲不振・吐き気	■	■	■												■	■	■												■
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																													
	口内炎			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																													
	下痢	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■
	便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																													
	色素沈着														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																													
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																													
	皮膚症状（皮疹、乾燥、爪囲炎など）								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																													
検査値	白血球減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																													
	赤血球減少(貧血)											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																													
	血小板減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																													

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使いください。

国家公務員共済組合連合会